八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

こっこめ通信 07 2016

「アメの香りを楽しむ時期」号

八丈島の今年の梅雨入りは６月５日。平年よりも３日早い梅雨入りとなりましたが、これまでの降水量はそれほど多くありません。６月 23 日にはツクツクボウシも鳴き始めているので梅雨明けも早いのでしょうか？

そして今年の夏休みも植物公園内で「光るキノコ無料観察会」を開催します。開催日程や集合場所・時間などの詳細は最後のページかビジターセンターのホームページをご覧ください。なんと今年はお盆期間も開催です！また、観察会の開催されない日も自由に見学できますが、観察地内はとても暗いのでご注意ください。

さて、今回は「今年は実がたくさん」「雨じゃなくて飴なアメンボ」のお話です。

今年は実がたくさん

今年はたくさんの花が咲き、たくさんの実が付く木々が多いです。例年だと実が付いているの？と感じる木にも、びっしりと実が付いています。

花が目立たない**エノキ**もいつの間にかたくさんの実が付きました。この実が大好きなイカルが渡って来るのでは？と期待していたんですがダメでした。**タブノキ**もたくさんの実が付きました。カラスバトが大好物の実ですが、これだけあると繁殖・子育てに有利かもしれませんね。６月中旬以降、道にたくさん落ち始めています。植物公園内の**オオシマザクラ**にもたくさんのサクランボが付きました。いつもは熟す前に落ちてしまうか、鳥や虫に食べられてしまいますが、今年は実の数が多く、他の木々の実もたくさんあるためか、私たちが食べられるほど残っていました。園内の**ヤマモモ**もたわわに実りました。熟して落ち、発酵し、辺りはすごい臭いになってしまいました。甘い実の付く木は落ちる前に食べられていましたね（人に）。山の**オオバエゴノキ**や**ミズキ**もよく見るとたくさんの実が付いていました。まだ咲いている**ハチジョウイボタ**や**サクノキ**、これから咲く**カラスザンショウ**などの木も実がたくさん付くのかもしれません。

なぜ今年はこんなに花や実が多いのでしょうか？台風が発生していないから？冬の終わりに雨が多かったから？５月の日照時間が多かったから？きっといろいろなイイ環境条件が重なったからなのでしょうね。

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

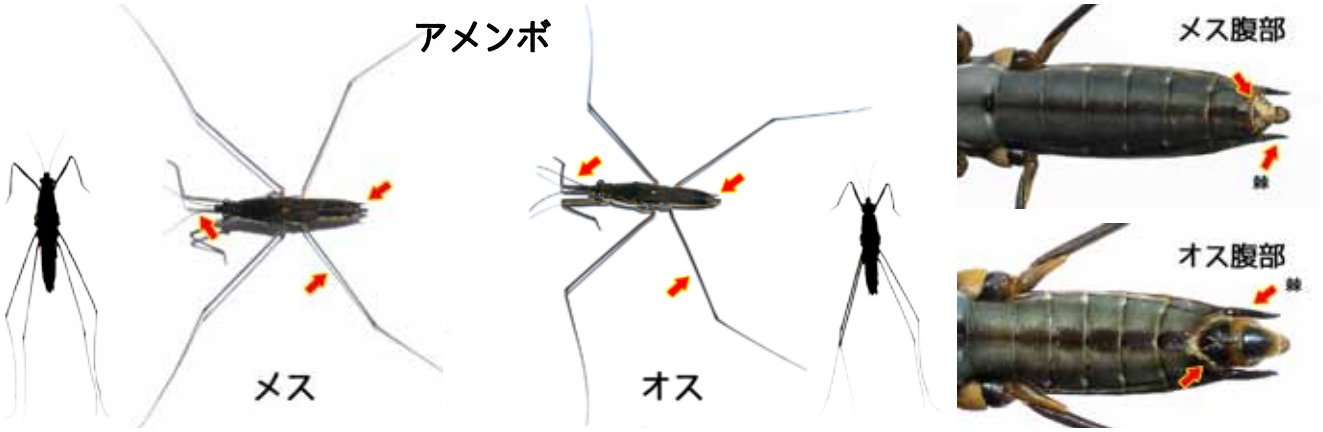
雨じゃなくて飴なアメンボ

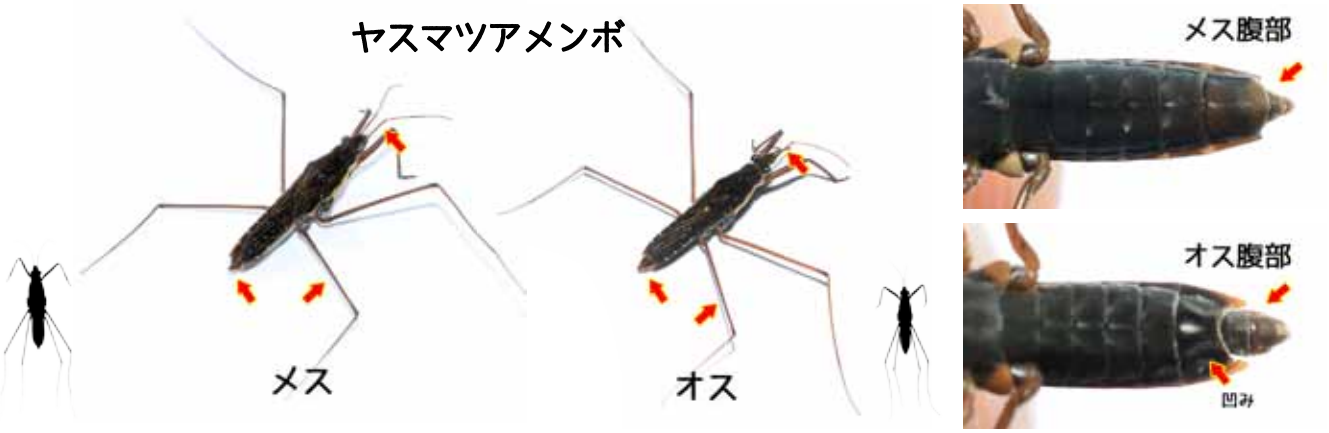
　アメンボを捕まえたことはありますか？捕まえると潰れてしまいそうな小さな虫ですが、想像しているよりは硬いと思います。アメンボは飴のような甘い匂いがするのでその名が付いたそうです。実際に捕まえると確かに甘い？匂いがします。スタッフ内でその匂いは「べっこう飴」「蒸したジャガイモ」「チーズ」と様々でしたが…。感じ方は人それぞれなので、ぜひ一度捕まえてどんな匂いがするのか試してみてください。

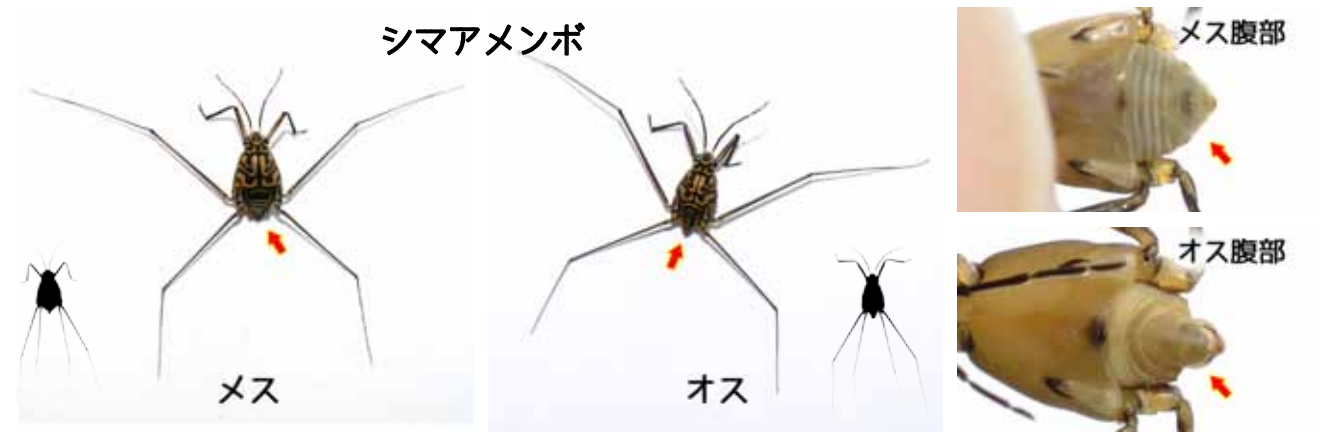
　そんなアメンボですが、八丈島で過去に記録のあるのは「アメンボ」「コセアカアメンボ」「ヤスマツアメンボ」「シマアメンボ」の４種。しかし、「コセアカアメンボ」は今回探しても見つかりませんでした。もしかしてヤスマツアメンボの誤認の可能性もあります。そこで見つかった３種類のアメンボを紹介します。

　広い池などで見られる大型の種類は**アメンボ**。腹部の先端に棘があり、触角の基部側の第１触角が長く、脚が黒っぽいです。少し閉鎖的な環境や小さな水溜まりなどにいるのは**ヤスマツアメンボ**。アメンボより小型で、体が少し茶色っぽく、脚は茶色です。コセアカアメンボに似ていますが、オスの腹部の凹みの位置により区別がつけられます。流れのある場所にいるのは**シマアメンボ**。翅のある個体もいますがほとんどが無翅で、動きがとても速いです。今のところ鴨川流域でのみ確認しています。アメンボとヤスマツアメンボはオスよりメスの方が大きく、メスの背中にオスが乗っている姿をよく見ます。下写真の黒塗り画像は実際の大きさです。

　いずみ親水公園やホタル水路周辺では３種共に見られるので、ぜひ探しに行ってみてください。







八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。前回は 6 月 12 日 (13 時 30 分～ 15 時) に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成 28 年第 6 回）参加者：沖山美、沖山三、金田、茂手木、永井、VC 菊池

NO.	和名　（島名）	状態
	草本	
1	アオツヅラフジ	蕾
2	アオノクマタケラン	花、盛り
3	アメリカスズメノヒエ	花
4	イヌクグ	実
5	ウスベニニガナ	花
6	ウラジロチチコグサ	花
7	オオアレチノギク	花
8	オオニワゼキショウ	花と実
9	オオバコ	実
10	オニタビラコ	花と実
11	オランダミミナグサ	実
12	カタバミ	花と実
13	カニツリグサ	実
14	カモジグサ	実
15	キランソウ	花
16	クサイ	実
17	コケリンドウ	花
18	コナスビ	花と実
19	シチトウスミレ	閉鎖花
20	シマスズメノヒエ	花
21	シロバナマンテマ	実
22	セイヨウタンポポ	実
23	タチスズメノヒエ	花
24	チチコグサ	花と実
25	ツユクサ	花
26	ツルマオ	花
27	トウバナ	花と実
28	トキワツユクサ	花
29	トキワハゼ	花
30	ナギナタガヤ	花
31	ニワゼキショウ	花と実
32	ニワホコリ	実
33	ヌカススキ	実
34	ネジバナ	咲き始め

NO.	和名　（島名）	状態
	草本	
35	ノゲシ	蕾
36	ハナヌカススキ	実
37	ハハコグサ	花と実
38	ヒナギキョウ	花と実
39	ヒメクグ	実
40	ヒメコバンソウ	実
41	フウトウカズラ	昨年の実
42	ブラジルコミカンソウ	花と実
43	ヘラバヒメジョオン	花、盛り
44	ホソバツルメヒシバ	花
	木本	
1	アオキ	若い実
2	アカメガシワ	若い実
3	イタビカズラ	実
4	イヌビワ	実
5	イヌマキ	花
6	エノキ	実
7	オオシマザクラ	実が残る
8	オオバヤシャブシ	実
9	オオムラサキシキブ	蕾
10	ガクアジサイ	花、盛り
11	カラスザンショウ	蕾
12	スイカズラ	花
13	スダジイ	実の虫こぶ
14	タイミンタチバナ	若い実
15	タブノキ	実
16	テイカカズラ	花
17	トベラ	実
18	ハゼノキ	若い実
19	ハチジョウイボタ	蕾
20	ヒサカキ	実
21	ヒメユズリハ	若い実
22	ホウライカズラ	虫こぶと蕾

NO.	和名　（島名）	状態
	木本	
23	モッコク	蕾
24	ヤナギイチゴ	実
25	ヤブニッケイ	花
26	ヤマモモ	実
	シダ植物	
1	オオイタチシダ	
2	オオタニワタリ	
3	オニヤブソテツ	
4	カニクサ	新葉
5	コハシゴシダ	
6	シチトウハナワラビ	胞子葉ナシ
7	タチクラマゴケ	胞子葉
8	タチシノブ	胞子葉が目立つ
9	タマシダ	
10	ナチシケシダ	
11	ノキシノブ	
12	ハチジョウカナワラビ	
13	ハチジョウシダ	
14	ハチジョウベニシダ	
15	ヒトツバ	胞子葉が目立つ
16	ホシダ	
17	ホラシノブ	
18	マツバラン	
19	マメヅタ	
20	ミゾシダ	
21	ヤマイタチシダ	
22	ワラビ	

今回はシダ植物 22 種を含む 92 種の植物を観察しました。森の中では飛翔するクサカゲロウを観察し、ツツジ類の害虫であるルリチュウレンジの大発生も確認しました。

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「ツクツクボウシ」にスポットを当ててみたいと思います。

ツクツクボウシ　*Meimuna opalifera*

半翅目セミ科。北海道からトカラ列島までに分布。伊豆諸島では九つの有人島すべてに分布しています。(大島,利島,新島,式根,神津,三宅,御蔵,八丈,青ヶ島)

伊豆諸島では南に行くほどセミの種数が減り、八丈島・青ヶ島はこの一種のみです。八丈島では、6 月下旬から 10 月まで鳴いています（過去に 11 月に鳴いている年もありました）。

2016 7 八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
31 ガイドウォーク 光るキノコ観察会 02：53 10：00 17：02 22：24		この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります			1 02：17 09：18 16：06 21：26	2 ガイドウォーク 03：11 10：10 17：04 22：27
3 ガイドウォーク 04：01 10：58 17：53 23：18	● 4 04：48 11：43 18：37	5 05：32 00：04 19：17 12：25	6 06：15 00：45 19：54 13：04	小暑 7 06：56 01：25 20：28 13：41	8 07：35 02：04 21：01 14：16	9 ガイドウォーク 08：16 02：44 21：33 14：50
10 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 09：00 03：29 22：07 15：24	11 09：54 04：22 22：46 16：00	◐ 12 11：08 05：28 23：33 16：46	13 06：45 12：51 17：49	14 00：30 07：57 14：34 19：16	15 01：31 08：53 15：44 20：40	16 ガイドウォーク 02：27 09：38 16：33 21：42
17 ガイドウォーク 03：14 10：18 17：12 22：29	18 ガイドウォーク 03：57 10：55 17：47 23：08	19 04：37 11：31 18：21 23：46	○ 20 05：16 12：07 18：55	21 光るキノコ観察会 05：56 00：23 19：29 12：44	大暑 22 夏休み特別行事 「夜の昆虫観察会」 06：38 01：01 20：04 13：21	23 ガイドウォーク 八丈学講座 「川の生きもの観察会」 07：21 01：42 20：39 14：00
24 ガイドウォーク 08：08 02：26 21：15 14：39	25 光るキノコ観察会 09：00 03：15 21：54 15：20	26 10：04 04：12 22：37 16：06	◑ 27 11：27 05：20 23：30 17：02	28 光るキノコ観察会 06：38 13：16 18：20	29 光るキノコ観察会 00：35 07：57 15：00 19：59	30 ガイドウォーク 光るキノコ観察会 01：47 09：05 16：11 21：23

イベントプログラム

植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！ 7／10 （13：30～ 約1時間半） 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名
夏休み特別行事 「夜の昆虫観察会」	恒例の夜の昆虫観察会！植物公園内で夜に活動する昆虫を探して観察します。 7／22 （19：30～ 約1時間半） 小学生以上（低学年は保護者同伴） ビジターセンター集合・解散 参加費：50円 定員：20名
八丈学講座 「川の生きもの観察会」	毎月行っている八丈学講座。今月は、ホタル水路周辺で川に棲む生きものを探して観察します。 7／23 （13：30～ 約1時間半） 中学生以上 鴨川ホタル水路集合・解散 参加費：50円 定員：15名
夏休み特別行事 「光るキノコ無料観察会」	7／21～8／29の月・木・金・土・日曜日 植物公園メインエントランス集合 無料 （7／22，23，24，26，27，8／2，3，9，10，11，16，17，23，24，30，31は休止） 受付時間；19：20～20：00 受付の最終締切は20：00です。 NPO法人八丈島観光レクリエーション研究会等のボランティアガイドがご案内いたします。

ビデオプログラム

10：00～	八丈・海・生きものたち
11：00～	おじゃりやれ 八丈島
14：00～	おじゃりやれ 八丈島
15：00～	おじゃりやれ 八丈島
16：00～	八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2016.7.1 第182号

開館時間 9：00～16：45 年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷２８４３
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888
E-mail：info@hachijo-vc.com
http://www.hachijo-vc.com

編集後記

アメンボの仲間はどのように島に入ってきたのでしょうか？飛べると言っても長距離を飛ぶことはないでしょうし、やはり何かに紛れ込んで入ってきてしまったのでしょうか？でも、三原側には広範囲に生息しているので古い時代だったのでしょうね。（高）